



七月 (大) 文月 亢宿

(七月七日小暑の節より)
月命乙未九紫火星の月
暗剣殺南の方

旧 五月大
六月小

日	曜日	干支	九星	行	事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出	月入	満潮	干潮
1日	木	かえいぬ	五黄	銀行の日	全国安全週間、国民安全の日、社会を明るくする運動、富士山開き、旧五月大	廿二	友引	さだん	角	大みう	4.29	19.01	23.40	10.58
2日	金	かのと	六白	半夏生○時一五分、●下弦六時一一分、博多祇園山笠(1日～15日)		廿三	先負	とる	亢	百事よし	4.29	19.01	23.40	10.58
3日	土	みづのえ	七赤	八せん始め		廿四	佛滅	やぶる	氏	●	4.30	19.01	23.40	10.58
4日	日	みづのえ	八白	米国独立記念日		廿五	大安	あやぶ	房	天おん	4.30	19.01	23.40	10.58
5日	月	きのえ	九紫	栄西禅師忌、三隣亡		廿六	赤口	なる	心	母倉	4.31	19.00	23.40	10.58
6日	火	きのえ	一白	東京入谷朝顔市(8日迄)		廿七	先勝	おさん	尾	母倉	4.31	19.00	23.40	10.58
7日	水	ひのえ	二黒	小暑六時五分、七夕、成田不動尊祇園会、奈良吉野蛙とび		廿八	友引	おさん	箕	大みう	4.32	19.00	23.40	10.58
8日	木	ひのえ	三碧	不成就日		廿九	先負	ひらく	斗	くゑ日	4.32	19.00	23.40	10.58
9日	金	つちのえ	四緑	東京浅草観音はおずき市、鵜外忌、三隣亡、一粒万倍日		卅	佛滅	とづ	牛	●	4.33	18.59	23.40	10.58
10日	土	つちのえ	五黄	●朔一〇時一七分、東京浅草観音四万六千日	旧六月小	朔	赤口	たつ	女	大みう	4.33	18.59	23.40	10.58
11日	日	かえさる	六白	初伏、庚申		二	先勝	のぞく	虚	大みう	4.34	18.59	23.40	10.58
12日	月	かのと	七赤	草市、福島伊佐須美田植祭、大阪生国魂神社夏祭、一粒万倍日		三	友引	みつ	危	神よし	4.35	18.58	23.40	10.58
13日	火	みづのえ	八白	ぼん迎え火、東京靖国神社みたま祭		四	先負	たいら	室	大くわ	4.35	18.58	23.40	10.58
14日	水	みづのえ	九紫	熊野那智大社扇祭、八せん終り		五	佛滅	さだん	壁	どう日	4.36	18.58	23.40	10.58

月の初めにはまだ梅雨期が残っていることもあるが、本格的な夏型の天候、気候になろう。ただし最近是不順なことが多く、冷害や集中豪雨に見舞われることもある。

【冠】七日は「七夕」(たなばた)五節句の一つ「棚機」の日である。織姫の名にちなんで、昔は女子の裁縫の上達を願ったものであるが、最近では技芸はもとより、書道、音楽、学習全般などになった。色紙や短冊などに願ひを書いたり、紙の星形をつるして庭に飾る。近ごろでは町ぐるみ、都市ぐるみのお祭り行事になっているところもある。とくに仙台や平塚の「七夕まつり」は全国的に有名である。

【葬】死者を送って最初の盆を特に「新盆」といい、戸外に葉つきの青竹を四隅に立て、上のはうをわら縄で結び、盆花(桔梗の別称)などをかけ、白張りの提灯

日	曜日	干支	九星	行	事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出	月入	満潮	干潮
15日	木	きのえ	九紫	ぼん、山形出羽三山花祭、九星陰通始め、甲子、不成就日		六	大安	とる	奎	天おん	4.36	18.57	23.40	10.58
16日	金	きのえ	一白	ぼん送り火、やぶ入り、賽日、えんま詣り、国土交通デー、佐原の大祭(18日迄)		七	赤口	やぶる	婁	十し	4.37	18.57	23.40	10.58
17日	土	ひのえ	七赤	●上弦一九時一一分、勤労青少年の日、京都八坂神社祇園祭、小倉祇園太鼓(16日～18日)		八	先勝	あやぶ	胃	天おん	4.38	18.56	23.40	10.58
18日	日	ひのえ	六白	京都松尾大社御田祭		九	友引	なる	昂	神よし	4.38	18.56	23.40	10.58
19日	月	つちのえ	五黄	●海の日、土用一九時五九分、塩竈みなと祭、茅ヶ崎寒川神社浜降祭		十	先負	おさん	畢	天おん	4.39	18.55	23.40	10.58
20日	火	つちのえ	四緑	山口祇園祭(27日迄)、己巳		十一	佛滅	ひらく	觜	くゑ日	4.40	18.55	23.40	10.58
21日	水	かえさる	三碧	中伏、大つち、三隣亡、一粒万倍日		十二	大安	とづ	参	●	4.41	18.54	23.40	10.58
22日	木	かえさる	二黒	大暑二二時二六分、敦賀気比神宮総参祭、熊谷うちわ祭		十三	赤口	たつ	井	大みう	4.41	18.54	23.40	10.58
23日	金	みづのえ	一白	宇和島和霊祭、不成就日		十四	先勝	のぞく	鬼	神よし	4.42	18.53	23.40	10.58
24日	土	みづのえ	九紫	●望一〇時三七分、地藏ぼん、河童忌、和歌山粉河祭(25日迄)、一粒万倍日、大田原大田山土地蔵尊夏大祭		十五	友引	みつ	柳	神よし	4.43	18.52	23.40	10.58
25日	日	きのえ	八白	大阪天神祭、徳島天神祭、相馬野馬追大祭(24日～26日)		十六	先負	たいら	星	月とく	4.43	18.51	23.40	10.58
26日	月	きのえ	七赤	広島厳島神社管絃祭		十七	佛滅	さだん	張	どう日	4.44	18.50	23.40	10.58
27日	火	ひのえ	六白	神奈川大山阿夫利神社夏季大祭		十八	大安	とる	翼	きこ	4.45	18.50	23.40	10.58
28日	水	ひのえ	五黄	土用の丑		十九	赤口	やぶる	軫	十し	4.46	18.49	23.40	10.58
29日	木	つちのえ	四緑	小つち		廿	先勝	あやぶ	角	母倉	4.46	18.48	23.40	10.58
30日	金	つちのえ	三碧	大阪住吉祭(8月1日迄)、宇佐神宮夏越大祭(8月1日迄)		廿一	友引	なる	亢	百事よし	4.47	18.47	23.40	10.58
31日	土	かえさる	二黒	●下弦二二時一六分、京都愛宕千日詣り、芦ノ湖水祭、堺大魚夜市、不成就日		廿二	先負	おさん	氏	天おん	4.48	18.46	23.40	10.58

をつるす本格的な行事を行うところもある。お盆は、孟蘭盆の略で昔から家単位の大盆の行事になっていた。地方により多少記方は違いますが、精霊棚を作りお位牌を安置し、野菜、果物、ソーマン、団子など供えるのが普通である。仏壇に簀簀(すいすい)を敷いて代用することもあり、きゅうりやナスで、牛、馬の形を作って供えるところもある。十三日の夕刻、迎え火といいて仏を迎え、十五日に僧侶に読経してもらい、十六日に送り火をたいて冥界(めいかい)に送る。お盆の供え物は川や海に流すのが普通で、小さな舟を作り、それに灯籠を載せて流す風習も各地に残っている。

【祭】中元の習慣は中国に発する。正月十五日を上元、七月十五日を中元、十月十五日を下元、合わせて三元とし、金品をささげて贖罪(しよくざい)をする日といひ伝えられており、これがわが国で形が変わり、縁故者や目上、恩人に贈り物をし、感謝の心を表すものとなったのである。